

目 次

歴代所長

1	沿 革	1
2	設置の目的	13
3	運営方針	13
4	努力事項	13
5	所員及び協力員等	15
6	教育委員会の機構	16
7	研究所運営機構図	17
8	事業計画・内容及び方法	18
9	研究教員	19
10	研究協力員及び教科等研究員	21
11	情報教育	23
12	教育相談	25
13	言語教室の概要	28
14	適応指導教室「すだち」	31
15	図書・資料	35

歴 代 所 長

	氏 名	期 間
初代	上 原 源 松	S50. 8. 1～S51. 1. 9
2代	宮 城 嘉 守	S51. 2. 10～S55. 12. 31
3代	島 村 善 勇	S56. 1. 1～S58. 3. 31
4代	岸 佳 正	S58. 4. 1～S60. 3. 31
5代	比 嘉 憲 秀	S60. 4. 1～S63. 3. 31
6代	島 村 善 勇	S63. 4. 1～H元. 3. 31
7代	宮 平 守 光	H元. 4. 1～H 2. 3. 31
8代	伊野波 盛 雄	H 2. 4. 1～H 4. 3. 31
9代	島 袋 正 重	H 4. 4. 1～H 6. 3. 31
10代	又 吉 助 好	H 6. 4. 1～H 8. 3. 31
11代	渡嘉敷 順 治	H 8. 4. 1～H10. 3. 31
12代	玉那覇 清	H10. 4. 1～H12. 3. 31
13代	長 崎 光 義	H12. 4. 1～H14. 3. 31
14代	森 田 孟 則	H14. 4. 1～H15. 12. 31
15代	山 城 正 博	H16. 1. 1～H16. 3. 31
16代	栄 門 忠 光	H16. 4. 1～H18. 3. 31
17代	島 袋 恭 治	H18. 4. 1～H20. 3. 31
18代	狩 俣 智	H20. 4. 1～

1 沿革

- 昭和50年 7月 7日 沖縄市立教育研究所発足
(1975年) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき沖縄市立教育研究所設置条例を設定
- 7月14日 沖縄市立教育研究所設置条例（昭和50年沖縄市条例第13号）第5条に基づき沖縄市立教育研究所設置施行条例施行規則（教委規則第8号）の制定
- 8月 1日 所長；上原源松（学校教育指導課長），兼任指導主事（4名），兼任事務主事（1名）の兼任を発令
- 9月10日 教科等研究会発足
- 昭和51年 1月 9日 上原源松所長退任
- 2月10日 所長；宮城嘉守（学校教育課長）兼任発令
- 4月 1日 研究所専任として指導主事；岸佳正，事務主事；吉浜靖起を発令
- 4月 8日 九州地区教育研究所連盟加入
- 5月 4日 全国教育研究所連盟加入
- 5月20日 九州地区教育研究所連盟春季総会に初参加
- 昭和52年 1月20日 九州地区教育研究所連盟冬季研究発表大会に初参加
- 4月19日 沖縄市幼稚園教育課程研究発表会
- 5月26日 全国教育研究所連盟総会並びに研究発表会（宮崎）に初参加
- 8月 1日 人事異動により事務主事；吉浜靖起が転出し，後任に事務主事；多和田寛が発令
- 9月 1日 第1期研究教員（小学校1名，中学校2名，計3名）が入所（研究期間3ヶ月）
- 11月19日 第1期研究教員の研究報告会
- 11月28日 第1期研究教員の修了式
- 昭和53年 1月 7日 第2期研究教員（幼稚園2名）が入所（研究期間3ヶ月）
- 3月20日 第2期研究教員の研究報告会
- 3月30日 第2期研究教員の修了式
- 8月31日 中の町小学校風疹児学級あとに研究所が移転
- 9月 1日 第3期研究教員（幼稚園2名，小学校2名，中学校1名，計5名）が入所
(研究期間4ヶ月)
- 10月 2日 教育相談員；知花恒子教諭を採用（臨時）
- 12月18日 第3期研究教員の研究報告会
- 12月26日 第3期研究教員の修了式
- 昭和54年 4月 1日 言語指導の研究協力員（大浜清教諭，宮城美津子教諭，田仲美枝子教諭）3人を兼任として発令
- 4月 5日 施行規則の改定により岸佳正を係長に任命
- 昭和54年 9月 1日 第4期研究教員（幼稚園2名，小学校1名，中学校2名，計5名）が入所
(研究期間4ヶ月)
- 9月 3日 教員相談員；知花恒子を本務採用
- 12月14日 第4期研究教員の研究報告会
- 12月26日 第4期研究教員の修了式

- 昭和55年 4月 1日 言語指導の研究協力員（大浜；宮城；田仲）外，上間カツ子教諭を増員し4人を兼務として発令
- 9月 1日 第5期研究教員（幼稚園2名，小学校3名，中学校3名，計8名）が入所
（研究期間4ヶ月）
- 12月19日 第5期研究教員の研究報告会
- 12月26日 第5期研究教員の修了式
- 12月31日 宮城嘉守所長退任
- 昭和56年 1月 1日 所長；島村善勇（学校教育課長）着任発令
- 4月 1日 教諭；町田妙子着任
- 7月20日 沖縄県教育研究所連盟結成・加盟
- 9月 1日 第6期研究教員（幼稚園2名，小学校4名，中学校2名，計8名）が入所
（研究期間4ヶ月）
- 11月10日 教諭；町田妙子を指導主事に任命
- 12月18日 第6期研究教員の研究報告会
- 12月26日 第6期研究教員の修了式
- 12月31日 係長；岸佳正退任
- 昭和57年 4月 1日 係長；又吉助好着任
- 10月 1日 第7期研究教員（幼稚園2名，小学校4名，中学校2名，計8名）が入所
（研究期間6ヶ月）
- 昭和58年 3月16日 第7期研究教員の研究報告会
- 3月22日 第7期研究教員の修了式
- 3月31日 島村善勇所長退任
- 4月 1日 所長；岸佳正（学校教育課長）兼任発令
教諭；石垣美代子着任
- 10月 1日 第8期研究教員（幼稚園2名，小学校3名，中学校3名，計8名）が入所
（研究期間6ヶ月）
- 昭和59年 3月 6日 第8期研究教員の研究報告会（市民会館）
- 3月22日 第8期研究教員の修了式
- 3月31日 教諭；石垣美代子退任
- 4月 1日 指導主事；町田妙子学校教育課へ配置換え
指導主事；宮平敏子，永山マサ子着任
- 5月31日 事務主事；多和田寛退任
- 6月 1日 事務主事；久場政明着任
- 10月 1日 第9期研究教員（幼稚園2名，小学校3名，中学校3名，計8名）が入所
（研究期間6ヶ月）
- 昭和60年 2月27日 第9期研究教員の研究報告会（中の町小）
- 3月31日 所長；岸佳正退任
- 4月 1日 所長；比嘉憲秀（学校教育課長）兼任発令
- 10月 1日 第10期研究教員（幼稚園2名，小学校2名，中学校4名，計8名）が入所
（研究期間6ヶ月）

- 昭和61年 2月27日 第10期研究教員の研究報告会
 (1986年) 3月 8日 研究所創立10周年記念式典
 3月24日 第10期研究教員修了式
 3月31日 係長；又吉助好退任
 3月31日 教育相談員；知花恒子退任
 4月 1日 係長；中村宗安着任
 8月 1日 指導主事；宮平敏子学校教育課へ，指導主事；町田妙子研究所へ配置換え
 10月 1日 第11期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校3名，中学校3名，計8名）
- 昭和62年 3月 3日 第11期研究教員の研究報告会
 3月24日 第11期研究教員修了式
 10月 2日 第12期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校3名，中学校3名，計8名）
- 昭和63年 3月12日 第12期研究教員の研究報告会
 3月24日 第12期研究教員修了式
 3月31日 所長；比嘉憲秀退任
 4月 1日 指導主事；永山マサ子学校教育課へ，教諭；山内淑子研究所へ
 4月 1日 所長；島村善勇（教育次長）兼任発令
 4月 1日 事務主事；久場政明企画調整課へ，事務主事；島袋恵美子研究所へ配置換え
 10月 1日 教諭；山内淑子学校教育課へ
 10月 3日 第13期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校3名，中学校4名，計9名）
 10月31日 係長；中村宗安退任
 11月 1日 係長；比嘉秀夫着任
- 平成元年 2月27日 第13期研究教員の研究報告会（幼稚園；小学校）
 2月28日 第13期研究教員の研究報告会（中学校）
 3月24日 第13期研究教員修了式
 3月31日 所長；島村善勇退任
 4月 1日 所長；宮平守光（学校教育課長）兼任発令
 4月 1日 教諭；新田富江着任
 10月 2日 第14期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校6名，中学校4名，計12名）
 10月31日 係長；比嘉秀夫退任
 11月 1日 係長；田畑肇着任
- 平成 2年 3月 6日 第14期研究教員の研究報告会（小学校6名）
- 平成 2年 3月 7日 第14期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，中学校4名）
 3月26日 第14期研究教員修了式
 3月31日 所長；宮平守光退任
 3月31日 教諭；新田富江退任，高原幼稚園へ
 4月 1日 所長；伊野波盛雄（教育次長）兼任発令
 10月 2日 第15期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校6名，中学校4名，計12名）
- 平成 3年 3月12日 第15期研究教員の研究報告会（小学校6名）
 3月13日 第15期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，中学校4名）
 3月25日 第15期研究教員修了式

- 平成 3年 3月31日 指導主事；町田妙子退任（定年退職）
- 4月 1日 指導主事；比嘉勝子着任
- 4月 1日 教諭；安森文子，教諭；長嶺なおみ着任
- 4月 1日 教育相談員；伊良部綾子着任（非常勤）
- 5月30日 全国教育研究所連盟総会，研究発表会（那覇）
- 10月 2日 第16期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校7名，中学校3名，計12名）
- 平成 4年 3月12日 第16期研究教員の研究報告会（小学校7名）
- 3月13日 第16期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，中学校3名）
- 3月25日 第16期研究教員修了式
- 3月31日 所長；伊野波盛雄退任
- 4月 1日 所長；島袋正重（教育次長）兼任発令
- 4月 1日 教諭；佐渡山久江着任
- 4月 1日 特別実務研修員 教諭；仲吉朝信（コザ中，適応指導教室担当）着任
- 7月 1日 教育相談員；友利孝子着任（適応指導教室担当）
- 11月 1日 教諭；安森文子，佐渡山久江退任
- 平成 5年 3月 9日 第17期研究教員の研究報告会（小学校7名）
- 3月10日 第17期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，中学校3名）
- 3月25日 第17期研究教員修了式
- 3月31日 特別実務研修員 教諭；仲吉朝信退任
- 3月31日 事務主事；島袋恵美子退任
- 4月 1日 事務主事；瑞慶覧朝弘着任
- 4月 1日 特別実務研修員 教諭；仲松鈴子（越来中，適応指導教室担当）着任
- 4月 2日 教育相談員；佐久本ゆかり着任（適応指導教室担当）
- 5月18日 事務主事；古謝柳子着任（臨時）
- 5月31日 事務主事；瑞慶覧朝弘退任（教育総務課へ配置換え）
- 10月 4日 第18期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校7名，中学校3名，計12名）
- 12月28日 事務主事；古謝柳子退任
- 平成 6年 1月 4日 事務主事；伊藤恵着任
- 3月 7日 第18期研究教員の研究報告会（小学校7名）
- 3月 8日 第18期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，中学校3名）
- 3月25日 第18期研究教員修了式
- 3月31日 所長；島袋正重退任
- 3月31日 係長；田畑肇退任
- 3月31日 事務主事；伊禮恵退任
- 3月31日 適応指導教室担当 佐久本ゆかり着任
- 4月 1日 所長；又吉助好（教育次長）兼任発令
- 4月 1日 係長；照喜名朝則着任
- 4月 1日 事務主事；青山直美着任
- 4月 1日 教育相談員；座喜味須美子着任（非常勤）
- 4月 4日 適応指導教室担当；佐久本ゆかり着任

平成 7年 5月16日 適応指導教室担当；新屋むつき着任（非常勤）

(1995年)10月 2日 第19期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校6名，中学校3名，計11名）

3月 8日 第19期研究教員の研究報告会（小学校6名）

3月 9日 第19期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，中学校3名）

3月24日 第19期研究教員修了式

3月31日 指導主事；比嘉勝子退任

3月31日 特別実務研修員 教諭；仲松鈴子（越来中，適応指導教室担当）退任

3月31日 教育相談員；座喜味須美子（非常勤）退任

3月31日 適応指導教室担当；佐久本ゆかり退任

3月31日 適応指導教室担当；新屋むつき（非常勤）退任

4月 1日 指導主事；稲福ヨシ子着任

4月 1日 特別実務研修員 教諭；宮城正博（コザ中，適応指導教室担当）着任

4月 4日 教育相談員；座喜味須美子（非常勤）着任

4月 4日 適応指導教室担当；佐久本ゆかり着任

4月 5日 第20期研究教員入所式（小学校3名，中学校1名，計4名）

5月 1日 適応指導教室担当；大宜味龍（非常勤）着任

5月18日 研究所創立20周年記念講演会（講師；大宜見義夫）

5月30日 研究所創立20周年記念座談会

7月 7日 研究所創立20周年記念式典；祝賀会

9月13日 第20期研究教員の研究報告会（小学校3名，中学校1名，計4名）

9月29日 第20期研究教員修了式

10月 4日 第21期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校3名，中学校1名，計6名）

平成 8年 2月29日 第21期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，小学校3名，中学校1名，計6名）

3月25日 第21期研究教員修了式

3月31日 所長；又吉助好退任

3月31日 指導主事；稲福ヨシ子退任

3月31日 教育相談員；座喜味須美子退任

3月31日 適応指導教室担当；佐久本ゆかり退任

3月31日 適応指導教室担当；大宜味龍退任

4月 1日 所長；渡嘉敷順治（教育次長）兼任発令

4月 1日 指導主事；屋富祖紘子着任

4月 2日 教育相談員；座喜味須美子（非常勤）着任

4月 2日 適応指導教室担当；佐久間あゆみ着任

4月 4日 第22期研究教員入所式（小学校2名，中学校1名，計3名）

5月 1日 適応指導教室担当；大宜味龍（非常勤）着任

9月11日 第22期研究教員の研究報告会（小学校2名，中学校1名，計3名）

9月24日 第22期研究教員修了式

10月 1日 第23期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校2名，中学校1名，計5名）

平成 9年 2月28日 第23期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，小学校2名，中学校1名，計5名）

3月24日 第23期研究教員修了式

- 平成 9年 3月31日 係長；照喜名朝則退任
- 3月31日 指導主事；屋富祖紘子退任
- 3月31日 事務主事；青山直美退任
- 3月31日 特別実務研修員 教諭；宮城正博（コザ中，適応指導教室担当）退任
- 3月31日 教育相談員；座喜味須美子退任
- 3月31日 適応指導教室担当；佐久間あゆみ退任
- 3月31日 適応指導教室担当；大宜味龍退任
- 4月 1日 係長；宮城正侑着任
- 4月 1日 指導主事；石川聡着任
- 4月 1日 事務主事；上原ミヨ子着任
- 4月 1日 特別実務研修員 教諭；照屋英美子（美里小，適応指導教室担当）着任
- 4月 2日 教育相談員；座喜味須美子（非常勤）着任
- 4月 2日 適応指導教室担当；佐久間あゆみ着任
- 4月 3日 第24期研究教員入所式（小学校3名）
- 5月 1日 適応指導教室担当；大宜味龍（非常勤）着任
- 9月 5日 第24期研究教員の研究報告会（小学校3名）
- 9月24日 第24期研究教員修了式
- 10月 1日 第25期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校1名，中学校2名，計5名）
- 平成10年 2月25日 第25期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，小学校1名，中学校2名，計5名）
- 3月20日 第25期研究教員修了式
- 3月31日 所長；渡嘉敷順治退任
- 3月31日 教育相談員；座喜味須美子退任
- 3月31日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ（旧姓佐久間）退任
- 3月31日 適応指導教室担当；大宜味龍退任
- 4月 1日 所長；玉那覇清（教育次長）兼任発令
- 4月 2日 教育相談員；座喜味須美子（非常勤）着任
- 4月 2日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ着任
- 4月 3日 第26期研究教員入所式（小学校3名）
- 5月 1日 適応指導教室担当；松田和久着任
- 9月17日 第26期研究教員の研究報告会（小学校3名）
- 9月22日 第26期研究教員修了式
- 10月 2日 第27期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校1名，中学校2名，計5名）
- 10月31日 教育相談員；座喜味須美子退任
- 11月 1日 教育相談員；喜友名信子（非常勤）着任
- 平成11年 3月 4日 第27期研究教員の研究報告会（幼稚園2名，小学校1名，中学校2名，計5名）
- 3月26日 第27期研究教員修了式
- 3月31日 係長；宮城正侑退任
- 3月31日 特別実務研修員 教諭；照屋英美子（美里小，適応指導教室担当）退任
- 3月31日 教育相談員；喜友名信子退任
- 3月31日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ退任

平成11年 3月31日 適応指導教室担当；松田和久退任
4月 1日 係長；山田稔着任
4月 1日 特別実務研修員 教諭；山口純子（美里中，適応指導教室担当）着任
4月 2日 教育相談員；久高将一（非常勤）着任
4月 2日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ着任
4月 2日 図書司書係員；榊原千寿（非常勤）着任
4月 5日 第28期研究教員入所式（小学校2名，中学校1名，計3名）
5月10日 適応指導教室担当；松田和久（非常勤）着任
9月10日 第28期研究教員研究成果報告会（小学校2名，中学校1名，計3名）
9月17日 第28期研究教員修了式
10月 4日 第29期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校2名，中学校1名，計5名）

平成12年 2月29日 第29期研究教員研究成果報告会（幼稚園2名，小学校2名，中学校1名，計5名）
3月27日 第29期研究教員修了式
3月31日 所長；玉那覇清退任
3月31日 指導主事；石川聡退任
3月31日 特別実務研修員 教諭；山口純子（美里中，適応指導教室担当）退任
3月31日 教育相談員；久高将一（非常勤）退任
3月31日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ退任
3月31日 適応指導教室担当；松田和久退任
3月31日 図書司書係員；榊原千寿（非常勤）退任
4月 1日 所長；長崎光義（教育次長）兼任発令
4月 1日 指導主事；石川格着任
4月 1日 特別実務研修員 教諭；山口純子（美里中，適応指導教室担当）着任
4月 2日 教育相談員；久高将一（非常勤）着任
4月 2日 適応指導教室担当；久田美津着任
4月 2日 図書司書係員；多田明日香（非常勤）着任
4月 5日 第30期研究教員入所式（小学校2名，中学校1名，計3名）
5月 8日 適応指導教室担当；松田和久（非常勤）着任
9月14日 第30期研究教員研究成果報告会（小学校2名，中学校1名，計3名）
9月29日 第30期研究教員修了式
10月 3日 第31期研究教員入所式（幼稚園2名，中学校1名，計3名）

平成13年 3月 9日 第31期研究教員研究成果報告会（幼稚園2名，中学校1名，計3名）
3月26日 第31期研究教員修了式
3月31日 事務主事；上原ミヨ子退任
3月31日 特別実務研修員 教諭；山口純子（美里中，適応指導教室担当）退任
3月31日 教育相談員；久高将一（非常勤）退任
3月31日 適応指導教室担当；久田美津退任
3月31日 適応指導教室担当；松田和久退任
3月31日 図書司書係員；多田明日香（非常勤）退任
4月 1日 事務主事；比嘉治着任

平成13年 4月 1日 特別実務研修員 教諭；福原寿子（コザ中，適応指導教室担当）着任
 4月 2日 教育相談員；久高将一（非常勤）着任
 4月 2日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ着任
 4月 2日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤）着任
 4月 4日 第32期研究教員入所式（幼稚園1名，小学校1名，中学校1名，計3名）
 6月 1日 適応指導教室担当；仲本和正（非常勤）着任
 9月13日 第32期研究教員成果報告会（幼稚園1名，小学校1名，中学校1名，計3名）
 9月28日 第32期研究教員修了式
 10月 2日 第33期研究教員入所式（幼稚園1名，小学校2名，計3名）
 平成14年 3月 8日 第33期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名，小学校2名，計3名）
 3月25日 第33期研究教員修了式
 3月31日 所長；長崎光義退任
 3月31日 研修係長；山田稔退任
 3月31日 事務主事；比嘉治退任
 3月31日 特別実務研修員 教諭；福原寿子（コザ中，適応指導教室担当）退任
 3月31日 教育相談員；久高将一（非常勤）退任
 3月31日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ退任
 3月31日 適応指導教室担当；仲本和正退任
 3月31日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤）退任
 4月 1日 所長；森田孟則（教育次長）兼任発令
 4月 1日 研修係長；石川格着任
 4月 1日 指導主事；佐久本聡着任
 4月 1日 事務主事；高江光子着任
 4月 1日 特別実務研修員 教諭；松崎清美（美里中，適応指導教室担当）着任
 4月 2日 教育相談員；久高将一（非常勤）着任
 4月 2日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ着任
 4月 2日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤）着任
 4月 3日 第34期研究教員入所式（小学校2名，計2名）
 5月13日 適応指導教室担当；仲本和正（非常勤）着任
 9月17日 第34期研究教員研究成果報告会（小学校2名，計2名）
 9月27日 第34期研究教員修了式
 10月 1日 第35期研究教員入所式（幼稚園2名，小学校1名，中学校1名，計4名）
 平成15年 3月11日 第35期研究教員研究成果報告会（幼稚園2名，小学校1名，中学校1名，計4名）
 3月24日 第35期研究教員修了式
 3月31日 特別実務研修員 教諭；松崎清美（美里中，適応指導教室担当）退任
 3月31日 教育相談員；久高将一（非常勤）退任
 3月31日 適応指導教室担当；甲斐あゆみ退任
 3月31日 適応指導教室担当；仲本和正退任
 3月31日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤）退任
 4月 1日 特別実務研修員 教諭；仲眞ひとみ（山内小，適応指導教室担当）着任

平成15年 4月 1日 教育相談員；久高将一（非常勤）着任
 4月 1日 適応指導教室担当；吉里紀一郎（非常勤）着任
 4月 1日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤）着任
 4月 2日 適応指導教室担当；兼城地代子着任
 4月 3日 第36期研究教員入所式（中学校1名，計1名）
 9月25日 第36期研究教員研究成果報告会（中学校1名，計1名）
 9月25日 第36期研究教員修了式
 10月 2日 第37期研究教員入所式（幼稚園1名，小学校2名，中学校1名，計4名）
 11月 1日 事務主事；高江光子退任
 11月 1日 事務主事；崎山由美子着任
 12月31日 所長；森田孟則（教育次長）退任
 平成16年 1月 1日 所長；山城正博（教育次長）兼任発令
 3月12日 第37期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名，小学校2名，中学校1名，計4名）
 3月19日 第37期研究教員修了式
 3月31日 所長；山城正博（教育次長）退任
 3月31日 研修係長；石川格退任
 3月31日 指導主事；佐久本聡退任
 3月31日 特別実務研修員 教諭；仲眞ひとみ（山内小，適応指導教室担当）退任
 3月31日 教育相談員；久高将一（非常勤）退任
 3月31日 適応指導教室担当；兼城地代子退任
 3月31日 適応指導教室担当；吉里紀一郎（非常勤）退任
 3月31日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤）退任
 4月 1日 所長；柴門忠光（指導部長）兼任発令
 4月 1日 研修係長；大城盛文着任
 4月 1日 指導主事；西條隆着任
 4月 1日 特別実務研修員 教諭；大城美智子（宮里中，適応指導教室担当）着任
 4月 1日 教育相談員；甲斐あゆみ（非常勤）着任
 4月 1日 適応指導教室担当；吉里紀一郎（非常勤）着任
 4月 1日 適応指導教室担当；知念正次（非常勤）着任
 4月 1日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤）着任
 4月 2日 適応指導教室担当；兼城地代子着任
 4月 2日 第38期研究教員入所式（小学校2名，中学校1名，計3名）
 9月10日 第38期研究教員研究成果報告会（小学校2名，中学校1名，計3名）
 9月21日 第38期研究教員修了式
 10月 4日 第39期研究教員入所式（幼稚園1名，小学校2名，計3名）
 平成17年 3月10日 第39期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名，小学校2名，計3名）
 3月28日 第39期研究教員修了式
 3月31日 特別実務研修員 教諭；大城美智子（宮里中，適応指導教室担当）退任
 3月31日 適応指導教室担当；兼城地代子退任
 3月31日 適応指導教室担当；吉里紀一郎（非常勤）退任

平成17年 3月31日 適応指導教室担当；知念正次（非常勤） 退任
(2005年) 3月31日 教育相談員；甲斐あゆみ（非常勤） 退任
3月31日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤）退任
4月 1日 特別実務研修員 教諭；大城美智子（宮里中，適応指導教室担当） 着任
4月 1日 適応指導教室担当；兼城地代子 着任
4月 1日 適応指導教室担当；知念正次（非常勤） 着任
4月 1日 適応指導教室担当；具志堅宏彰（非常勤） 着任
4月 1日 教育相談員；喜友名信子（非常勤） 着任
4月 1日 図書司書係員；平良みゆき（非常勤） 着任
4月 4日 第40期研究教員入所式（小学校2名，中学校1名，計3名）
7月 7日 沖縄市立教育研究所30周年記念教育シンポジウム（式典）
9月16日 第40期研究教員研究成果報告会（小学校2名，中学校1名，計3名）
9月21日 第40期研究教員修了式
10月 3日 第41期研究教員入所式（幼稚園1名，小学校2名，計3名）
12月28日 適応指導教室担当・具志堅宏彰（非常勤） 退任
平成18年 1月 4日 適応指導教室担当・具志堅司（非常勤） 着任
3月13日 第41期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名，小学校2名，計3名）
3月27日 第41期研究教員，特別実務研修員修了式
3月31日 指導主事・西條隆退任
3月31日 特別実務研修員 教諭・大城美智子（宮里中，適応指導教室担当） 退任
3月31日 適応指導教室担当・兼城地代子退任
3月31日 適応指導教室担当・知念正次（非常勤） 退任
3月31日 適応指導教室担当・具志堅司（非常勤） 退任
3月31日 教育相談員・喜友名信子（非常勤） 退任
3月31日 図書司書係員・平良みゆき（非常勤）退任
4月 1日 指導主事・普天間千江美着任
4月 1日 特別実務研修員 教諭・島袋薫（美東中，適応指導教室担当） 着任
4月 1日 適応指導教室担当・兼城地代子 着任
4月 1日 適応指導教室担当・知念正次（非常勤） 着任
4月 1日 適応指導教室担当・具志堅司（非常勤） 着任
4月 1日 教育相談員・喜友名信子（非常勤） 着任
4月 1日 コンピュータインストラクターが時間講師から嘱託職員へ変わる
神谷厚寛（非常勤：嘱託職員として） 着任
4月 3日 第42期研究教員入所式（幼稚園1名，小学校1名，中学校1名，計3名）
4月26日 図書司書係員・新垣あゆみ（非常勤） 着任
9月 8日 第42期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名，小学校1名，中学校1名，計3名）
9月26日 第42期研究教員修了式
10月 2日 第43期研究教員入所式（幼稚園1名，小学校1名，中学校1名，計3名）
12月28日 図書司書係員・新垣あゆみ（非常勤） 退任
平成19年 1月 4日 図書司書係員・糸数はづき（非常勤） 着任

3月13日 第43期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名，小学校1名，中学校1名，計3名）
 3月29日 第43期研究教員，特別実務研修員修了式
 3月31日 研修係長・大城盛文退任
 3月31日 特別実務研修員 教諭・島袋薫（美東中，適応指導教室担当）退任
 3月31日 適応指導教室担当・兼城地代子退任
 3月31日 適応指導教室担当・知念正次（非常勤）退任
 3月31日 適応指導教室担当・具志堅司（非常勤）退任
 3月31日 教育相談員・喜友名信子退任
 3月31日 図書司書係員・糸数はづき（非常勤）退任
 3月31日 コンピュータインストラクター・神谷厚寛退任
 4月 1日 研修係長・早田実着任
 4月 1日 特別実務研修員 教諭・下地美智子（コザ中，適応指導教室担当）着任
 4月 1日 適応指導教室担当・兼城地代子着任
 4月 1日 コンピュータインストラクター・二宮寛和着任
 4月 3日 適応指導教室担当・具志堅新志（非常勤）着任
 4月 3日 適応指導教室担当・長尾史英（非常勤）着任
 4月 3日 教育相談員・喜友名信子（非常勤）着任
 4月 3日 図書司書係員・糸数はづき着任
 4月 4日 第44期研究教員入所式（小学校1名，計1名）
 9月 7日 第44期研究教員研究成果報告会（小学校1名，計1名）
 9月18日 第44期研究教員修了式
 10月 4日 第45期研究教員入所式（幼稚園1名，小学校2名，中学校1名，計4名）
 平成20年 2月28日 適応指導教室・教育相談室実践報告会
 3月 7日 第45期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名，小学校2名，中学校1名，計4名）
 3月28日 第45期研究教員，特別実務研修員修了式
 3月31日 特別実務研修員 教諭・下地美智子（コザ中，適応指導教室担当）退任
 3月31日 適応指導教室担当・兼城地代子退任
 3月31日 適応指導教室担当・具志堅新志（非常勤）退任
 3月31日 適応指導教室担当・長尾史英（非常勤）退任
 3月31日 教育相談員・喜友名信子（非常勤）退任
 3月31日 図書司書係員・糸数はづき（非常勤）退任
 3月31日 コンピュータインストラクター・二宮寛和退任
 4月 1日 特別実務研修員 教諭・花城直美（美里中，適応指導教室担当）着任
 4月 1日 適応指導教室担当・宮國麻衣子着任
 4月 1日 適応指導教室担当・上里真也（非常勤）着任
 4月 1日 適応指導教室担当 仲宗根正美（非常勤）着任
 4月 1日 コンピュータインストラクター・二宮寛和着任
 4月 1日 教育相談員・喜友名信子（非常勤）着任
 4月 1日 図書司書係員・糸数はづき（非常勤）着任
 4月 2日 教育相談員・喜友名信子退任

4月 4日 第46期研究教員入所式（幼稚園1名, 中学校1名, 計2名）
 7月 7日 教育相談員・知花芳着任
 9月10日 第46期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名, 中学校1名, 計2名）
 9月24日 第46期研究教員修了式
 10月 3日 第47期研究教員入所式（幼稚園1名, 小学校1名, 中学校1名, 計3名）
 平成21年 1月27日 大阪府吹田市議会議員視察団来所
 2月24日 適応指導教室・教育相談室実践報告会
 3月 6日 第47期研究教員研究成果報告会（幼稚園1名, 小学校1名, 中学校1名, 計3名）
 3月23日 第47期研究教員修了式
 3月31日 適応指導教室担当・宮國麻衣子退任
 3月31日 適応指導教室担当・上里真也（非常勤）退任
 3月31日 適応指導教室担当・仲宗根正美（非常勤）退任
 3月31日 教育相談員・知花芳退任
 3月31日 図書司書係員・糸数はづき（非常勤）退任
 3月31日 コンピュータインストラクター・二宮寛和退任
 4月 1日 適応指導教室担当・宮國麻衣子着任
 4月 1日 適応指導教室担当・上里真也（非常勤）着任
 4月 1日 適応指導教室担当 仲宗根正美（非常勤）着任
 4月 1日 コンピュータインストラクター・二宮寛和着任
 4月 1日 教育相談員・喜友名信子（非常勤）着任
 4月 1日 図書司書係員・糸数はづき（非常勤）着任
 4月 2日 教育相談員・知花芳着任
 4月 3日 第48期研究教員入所式（幼稚園1名, 小学校1名, 計2名）

2 設置の目的

教育に関する専門的、技術的事項の研究及び教育関係職員の研修に資する。

(沖縄市立教育研究所設置条例第1条)

3 運営方針

- (1) 本市の現状に即した教育研究を行い、その結果を教育関係者に役立てる。
- (2) 教師の研修の機会をつくり、教育実践上の諸問題を解明するよう援助する。
- (3) 教育研究のための発行・収集を行い、教育関係者の利用に役立てる。
- (4) 各学校や各教育研究団体および各教師の調査研究や教育相談の援助に努める。

4 努力事項（◎は重点事項）

(1) 教職員研修並びに調査研究活動の充実

- ◎ 研究教員の研究・研修の充実
- ◎ 初任者研修および10年目経験者研修の充実
- ◎ 研究協力員、教科等研究員の研究・研修の充実
- ◎ 教育評価研究の推進
- ◎ 基礎学力検査の推進
- 各種研修講座・公開講座の充実
- 調査研究活動の推進
- 授業実践研修の推進
- 教育課程研究の推進
- 学校並びに教育関係機関との支援と連携

(2) 研究所業務運営の効率化

- ◎ 学校並びに教育関係機関との連携
- 諸業務運営の効率化
- 紀要、研究報告書、教育資料等の発刊と提供
- Webページの充実と学校との連携

(3) 情報教育の充実

- ◎ 児童生徒の情報活用能力の育成（コンピュータインストラクター派遣による学習支援）
- ◎ 各教科におけるコンピュータを活用した「わかる授業」の推進
- ◎ 教職員の情報教育に係わる研修の充実（コンピュータインストラクター派遣による学校支援）
- 教育情報ネットワークの活用の推進
- 全体構想や年間指導計画の作成と指導体制の確立
- 情報教育研究協力員による研究の推進
- 市内コンピュータ主任研修会の充実
- 教育用コンピュータ新規・入替校への支援

(4) 心因性不登校児童・生徒の学校適応指導と教育相談の充実

- ◎ 学校復帰支援の充実
- ◎ 電話・来所・訪問指導等による教育相談の充実
- 適応指導教室「すだち」の学級経営の充実
- 学校並びに教育関係機関との密接な連携
- スーパーバイザー・カウンセラーの積極的な活用

(5) 言語指導の充実

- ◎ 入級児童数の拡大と指導体制の充実
- 言語教室の実践の充実
- 障がいの種類や程度の違いに応じた指導方法の工夫・改善

(6) 研究図書・資料等の分類・整理と活用の促進

- ◎ 図書・資料の活用の促進
- 図書・資料の分類・整理
- 図書目録の発刊
- 諸教育情報の収集と提供の促進

(7) 施設・設備等の拡充と環境整備

- ◎ 施設・設備及び備品の整備・拡充
- 所内外の環境整備の推進

5 所員及び協力員等

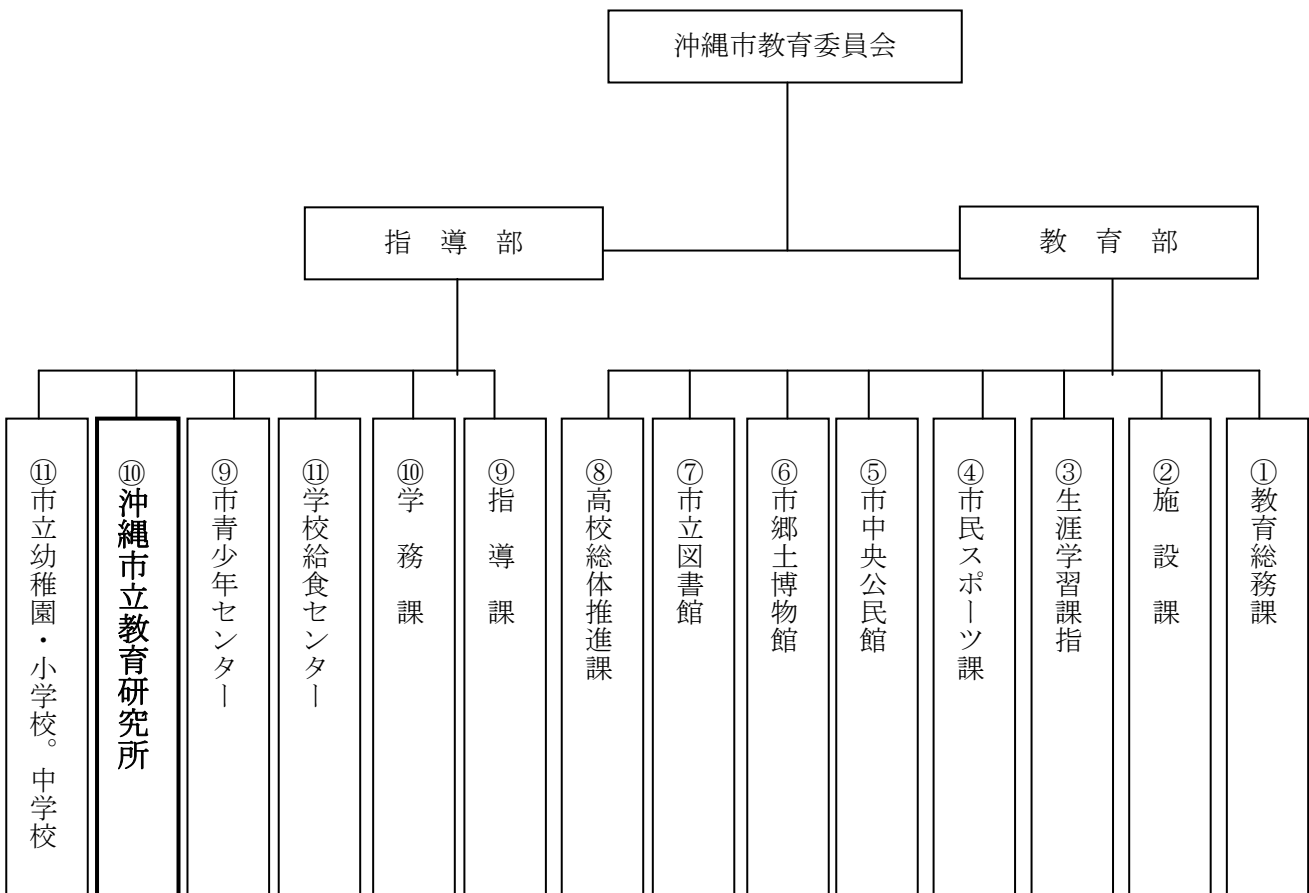
職名	氏名	職務・研究	事務担当	備考
所長	狩俣 智	全体統括 学校経営	研究所の統括に関すること 研究所の人事・任用に関すること	兼任
研修係長	早田 実	企画運営 体 育 教育課程	研究所の企画運営に関すること 所員，研究教員の服務管理に関すること 研究教員の研究・研修に関すること 市基礎学力検査に関すること 社会科副読本に関すること 研究所運営協議会に関すること 教育課程の研究・研修に関すること 教育年報，沖縄市の教育の統計資料に関すること	専任
指導主事	普天間千江美	情報教育 音 楽 教育課程	研究教員の研究・研修に関すること 研究協力員，諸検査に関すること 情報教育に関すること 言語教室に関すること 適応指導教室に関すること 研究所連盟に関すること 研究所の施設・設備に関すること 市特殊教育研究会との連携に関すること	専任
事務主事	島 袋 智 子	庶務会計	研究所の庶務・会計に関すること 研究所の予算・決算に関すること 文書の収受・保管に関すること 所員，研究教員の諸休暇処理に関すること	専任
教育相談員 月・水・金	知花 芳	教育相談	心因性不登校児童生徒の教育相談（電話，来所，訪問等）に関すること 適応指導教室，関係機関との連携に関すること	嘱託
PCインストラクター	二 宮 寛 和	コンピュータ活用	コンピュータを活用した授業支援に関すること コンピュータ研修支援に関すること	嘱託
適応指導教室 教育相談員	宮國 麻衣子	学校適応 指 導	適応指導教室の指導に関すること 適応指導教室の体験活動・対外行事に関すること 適応指導教室の図書資料の購入・整理に関すること	嘱託
適応指導教室 指 導 員	上 里 真 也	学校適応 指 導	適応指導教室の指導に関すること 適応指導教室の体験活動・対外行事に関すること	協力員
適応指導教室 指 導 員	仲宗根 正美	学校適応 指 導	適応指導教室の指導に関すること 適応指導教室の体験活動・対外行事に関すること	協力員
図書司書 係 員 月・水・金	糸数 はづき	図書目録 編 纂	図書資料の購入，分類・整理に関すること 図書目録編纂に関すること 図書資料の貸し出しに関すること	協力員

特別実務 研 修 員	花城 直美	学校適応 指 導	適応指導教室に関する実務研修	美 里 中学校
---------------	-------	-------------	----------------	------------

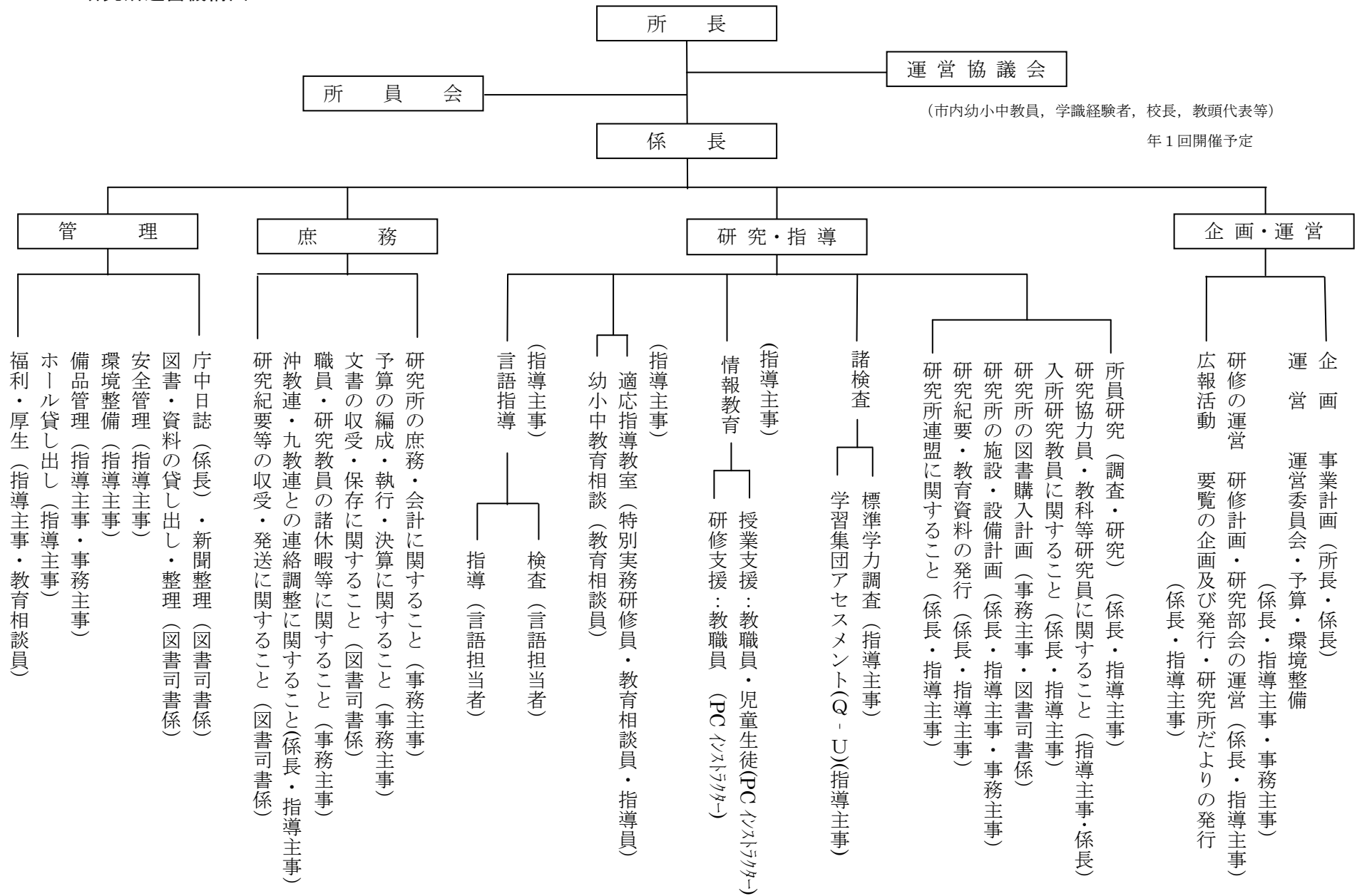
言語教室 担 任 (水)	島田 喜代 仲宗根 艶子 伊波 沙織 池原 悦子 多幸 京子	言語指導	言語教室, 言語指導に関すること	退職教諭 中の町小 コザ小 北美小 安慶田小
--------------------	--	------	------------------	------------------------------------

スーパーバ イ ザ ー	伊是名 聡	カウんセ リ ン グ	適応指導教室事業のカウンセリングに関すること	協力員
----------------	-------	---------------	------------------------	-----

6 教育委員会の機構



7 研究所運営機構図



8 事業計画・内容及び方法

事業計画		内容及び方法	担当
研究・研修	1 研究教員の研修 2 研究協力員の研修 3 諸研究発表会及び研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中学校教員が、教科・領域の研究テーマを設定し、6ヶ月間の研修を実施 【前期 4月～9月・後期 10月～3月】 ・情報教育に関する調査研究及び授業研究 ・全教連及び九教連・沖教連の総会，研究発表大会，研究協議会，部門別担当者研修会等への所員の参加 	所長 研修係長 指導主事
調査	1 全国標準学力調査 2 学習集団アセスメント (Q-U)	<ul style="list-style-type: none"> ・小4、小5、中1、中2年の児童生徒を対象に標準学力調査の実施と結果の分析・考察 ・中1・2の生徒を対象に楽しい学校生活を送るためのアンケートの実施と結果の分析・考察 	指導主事
研究	1 教育課程に関する研究 2 各教科・領域等に関する研究 3 教育評価に関する研究 4 情報教育に関する研究 5 学校適応指導に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成及び実施に関する研究 ・各教科・領域等の実践的な研究支援 ・新しい評価観に立った学習評価の研究 ・コンピュータの操作及び効果的な指導法に関する研究 ・心因性不登校児童生徒の学校適応指導に関する研究 	研修係長 指導主事 すだち担任
教育相談	1 適応指導教室 2 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・学校不適応児童生徒の適応指導 ・市内幼小中学校の幼児児童生徒及び保護者を対象とした教育相談（電話・来所・訪問の各相談） 	教育相談員 指導員 教育相談員
言語指導	1 言語指導	<ul style="list-style-type: none"> ・市内のことばの教室未設置校の児童を対象に構音や吃音等に支援が必要な児童への指導を週1回実施 	退職教諭 教諭 (市内小学校ことばの教室担当)
研究運営会議	1 研究所運営協議会 2 適応指導教室研究会議	<ul style="list-style-type: none"> ・研究所の運営に関する協議（年1回） ・心因性不登校児童生徒に関する研究会議（年2回） 	所長 研修係長 指導主事 すだち担任 すだち教育相談員
研究物の発刊	1 研究紀要・研究報告書 2 実践報告書 3 研究所要覧 4 研究所だより 5 図書資料目録	<ul style="list-style-type: none"> ・研究教員及び特別実務研修教員による入所期間の研究のまとめとしての研究紀要・研究報告書（9月，3月刊行） ・研究協力員・教科等研究員による実践報告書（12月刊行） ・教育研究所に関する組織・運営，事業計画，図書資料等の概要のまとめ（3月刊行） ・教育研究所に関する情報のまとめ（年2回） ・教育研究所連盟及び教育関係機関からの送付研究紀要等の目録 	研修係長 指導主事 事務主事 すだち担任 図書司書

9 研究教員

(1) 研究教員

- ① 沖縄市内の各幼稚園・小学校・中学校の教職員が応募によって入所し、各教科・領域の研究テーマを設定して6ヶ月間の研修を実施する。
- ② 研修計画に従い、研究テーマ、研究目標、研究仮説に基づいて、理論研究、検証授業を実施する。
- ③ 研修を推進するにあたり、研究テーマ検討会、中間報告会、研究成果報告会を通して、授業分析、研究協議を深め、研修の円滑な推進を図る。
- ④ 研修を推進するにあたり、「研究の進め方」「研究論文の書き方」「教育課程の実施」「コンピュータの実技研修」等の研修講座を通して、研修の充実を図る。

(2) 研究教員の推移

期	年度	研修期間	研究教員			合計
			幼稚園	小学校	中学校	
1	昭和52年度	9月～11月(3ヵ月)	0	1	2	3
2	52	1月～3月(3ヵ月)	2	0	0	2
3	53	9月～12月(4ヵ月)	2	2	1	5
4	54	9月～12月(4ヵ月)	2	1	2	5
5	56	9月～12月(4ヵ月)	2	3	3	8
6	57	9月～12月(4ヵ月)	2	3	3	8
7	58	10月～3月(6ヵ月)	2	4	2	8
8	59	10月～3月(6ヵ月)	2	3	3	8
9	60	10月～3月(6ヵ月)	2	3	3	8
10	61	10月～3月(6ヵ月)	2	3	3	8
11	62	10月～3月(6ヵ月)	2	4	3	9
12	62	10月～3月(6ヵ月)	2	3	3	8
13	63	10月～3月(6ヵ月)	2	3	5	10
14	平成元年度	10月～3月(6ヵ月)	2	6	4	12
15	2	10月～3月(6ヵ月)	2	6	4	12
16	3	10月～3月(6ヵ月)	2	7	3	12
17	4	10月～3月(6ヵ月)	2	7	3	12
18	5	10月～3月(6ヵ月)	2	7	3	12
19	6	10月～3月(6ヵ月)	2	6	3	11
20	7(前期)	4月～9月(6ヵ月)	0	3	1	4
21	7(後期)	10月～3月(6ヵ月)	2	3	1	6
—	7(2月入所)	2月～3月(2ヵ月)	0	1	0	1
22	8(前期)	4月～9月(6ヵ月)	0	2	1	3

期	年度	研修期間	研究教員			合計
			幼稚園	小学校	中学校	
23	8 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	2	2	1	5
24	9 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	3	0	3
25	9 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	2	1	2	5
26	10 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	3	0	3
27	10 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	2	1	2	5
28	11 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	2	1	3
29	11 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	2	2	1	5
30	12 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	3	0	3
31	12 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	2	0	1	3
32	13 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	1	1	1	3
33	13 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	1	2	0	3
34	14 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	2	0	2
35	14 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	2	1	1	4
36	15 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	0	1	1
37	15 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	1	2	1	4
38	16 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	2	1	3
39	16 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	1	2	0	3
40	17 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	2	1	3
41	17 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	1	2	0	3
42	18 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	1	1	1	3
43	18 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	1	1	1	3
44	19 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	0	1	0	1
45	19 (後期)	10月～ 3月 (6ヵ月)	1	2	1	4
46	20 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	1	0	1	2
47	20 (後期)	10月～ 3月 (6ヶ月)	1	1	1	3
48	21 (前期)	4月～ 9月 (6ヵ月)	1	1	0	2
49	21 (後期)	10月～ 3月 (6ヶ月)	1	1	1	3
合 計			62	122	76	260

(3) 研究教員氏名一覧表

期	校種	教科・領域	学 校	氏 名	期 間
四八期	幼	表 現	比屋根幼	照屋 めぐみ	平成21年 4月～平成21年9月 (6ヶ月)
	小	図画工作科	越来小	中村 美和子	
四九期	幼	人間関係	美東幼	宮城 小百合	平成21年10月～平成22年3月 (6ヶ月)
	小	国語科	コザ小	島袋 しおり	
	中	理 科	沖縄東中	上江洲 克枝	

10 研究協力員及び教科等研究員

(1) 研究協力員

① 情報教育研究協力員

ア 趣旨

児童生徒一人一人に情報活用能力の育成及び確かな学力の向上を図るため、コンピュータやインターネット等を活用した学習指導における実践的な研究を行うことにより、個別的な学習指導の充実、多様な教材の提供、指導方法の工夫改善に資する。

イ 研究協力員の割当

輪番とし、担当学校から1名推薦。ただし、コンピュータ教室の配備に伴い、新規導入または設備更新等が行われた場合は、その学校を優先する。

小学校・・・比屋根小学校・美里小学校・美東小学校

中学校・・・安慶田中学校・美里中学校・美東中学校

ウ 研究内容

小学校

- ・コンピュータやインターネット等を活用した学習指導における実践的な研究を行う。
- ・各教科において、コンピュータ教室における「分かる授業」の実践的な研究を行う。

中学校

- ・コンピュータ教室以外（特別教室や普通教室）でのICT利活用による「わかる授業」の実践的な研究を行う。

② 基礎学力検査問題作成委員

ア 趣旨

本市児童生徒一人一人の当該学年で身に付けるべき基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握し、各学校の確かな学力を育てる学習指導方法の工夫・改善に資する。

イ 実施対象

小学校（第3・5・6学年）、中学校（第1学年）

ウ 実施教科

小学校（国語，算数，），中学校（国語，数学，英語）

エ 問題作成委員

- ・年次の持ち回り計画によって、学年・教科ごとに市内小学校16校ならびに中学校8校で、分担して問題を作成する。（作成は、“東京書籍問題データベース”を参考にする）
- ・小学校は、学対主任を中心に当該学年等で作成をし、学校長が監修者となる。
- ・中学校は、教科主任・学対主任を中心に当該学年・教科部会等で作成する。監修者は、市内中学校長より教科に応じて依頼する。

(2) 教科等研究員

① 小学校社会科副読本編集委員

ア 目的

児童一人一人が自分たちの住んでいる市の様子や産業などに興味・関心を持ち、主体的に学習する力を育てるため、3・4年生用副読本「わたしたちの沖縄市」を作成・配布し、各学校

において活用することにより、地域社会の一員としての自覚と地域社会を大切にすることを養い、地域社会に対して誇りを持ち、心豊かな児童の育成に資することを目的とする。

イ 小学校3・4年生用社会科副読本を編集・作成する

(3) 研究協力員及び教科等研究員の推移

	幼稚園		小学校		中学校		合計	
	研究協力員	教科等研究員	研究協力員	教科等研究員	研究協力員	教科等研究員	研究協力員	教科等研究員
昭和50年度	0	0	20	4	10	2	30	6
昭和51年度	5	1	30	6	15	3	50	10
昭和52年度	5	1	45	9	25	5	75	15
昭和53年度	5	1	57	12	14	3	76	16
昭和54年度	5	1	53	11	20	4	78	16
昭和55年度	5	1	44	9	20	4	69	14
昭和56年度	5	1	33	7	25	5	63	13
昭和57年度	0	0	9	2	0	0	9	2
昭和58年度	17	2	21	5	5	3	43	10
昭和59年度	21	2	24	5	5	2	50	9
昭和60年度	16	2	6	1	5	1	27	4
昭和61年度	21	3	7	1	4	1	32	5
昭和62年度	29	5	20	4	5	2	54	11
昭和63年度	32	4	11	3	7	2	50	9
平成元年度	22	3	22	3	6	1	50	7
平成2年度	30	2	21	7	21	7	72	16
平成3年度	28	2	19	15	12	4	59	21
平成4年度	15	2	22	5	24	4	61	11
平成5年度	13	2	23	5	26	4	62	11
平成6年度	13	2	13	4	15	3	41	9
平成7年度	3	13	10	15	10	15	23	43
平成8年度	13	2	12	9	12	9	37	20
平成9年度	4	2	12	8	12	9	28	19
平成10年度	4	2	12	8	12	9	28	19
平成11年度	4	2	12	13	12	9	28	24
平成12年度	4		12	8	12	9	28	17
平成13年度	4		12	13	12	9	28	22
平成14年度	4		12	8	12	9	28	17
平成15年度	4		12	8	12	9	28	17
平成16年度	3		12	9	12	9	27	18
平成17年度	0		35	15	24	0	59	15
平成18年度	0		50	0	32	0	82	0
平成19年度	0		49	0	34	0	83	0
平成20年度	0		9	16	6	0	15	16
平成21年度	0		9	16	6	0	15	16
合計	334	58	770	264	484	156	1588	478

(昭和50年度からの統計)

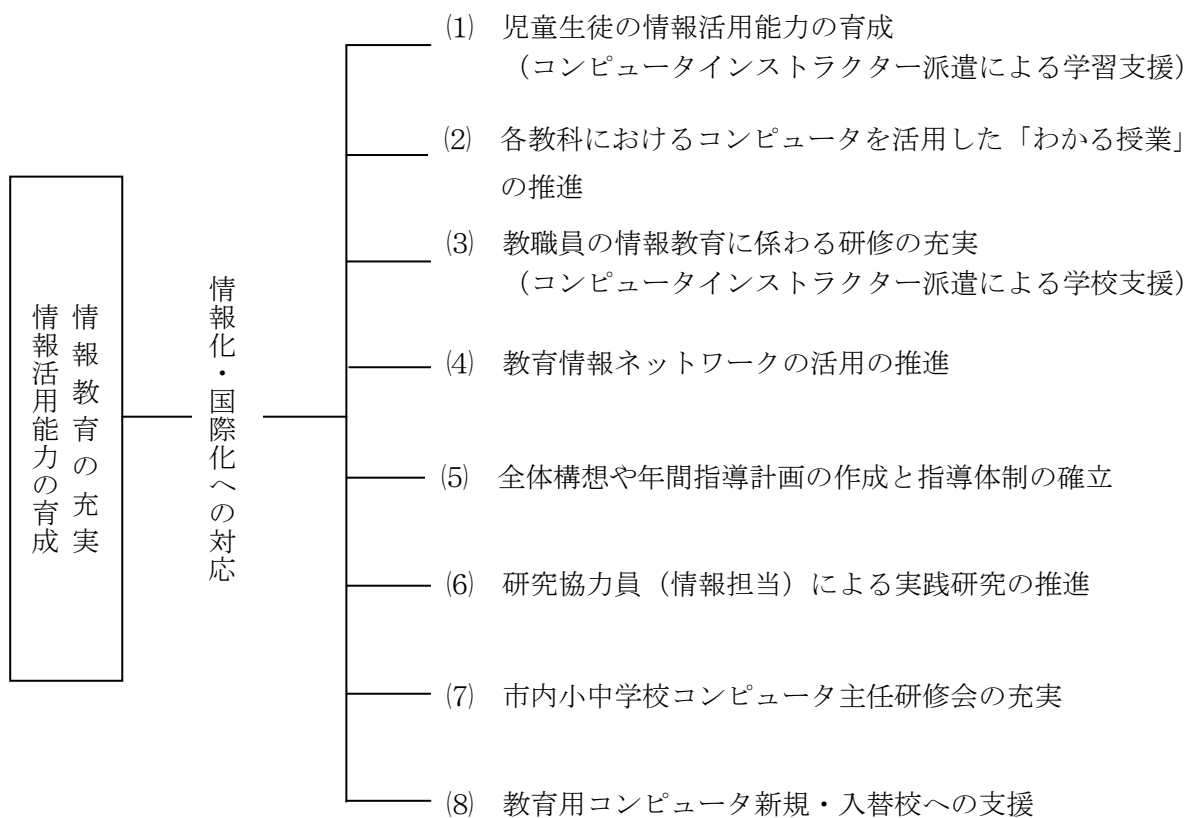
11 情報教育

(1) 情報教育推進の基本方針

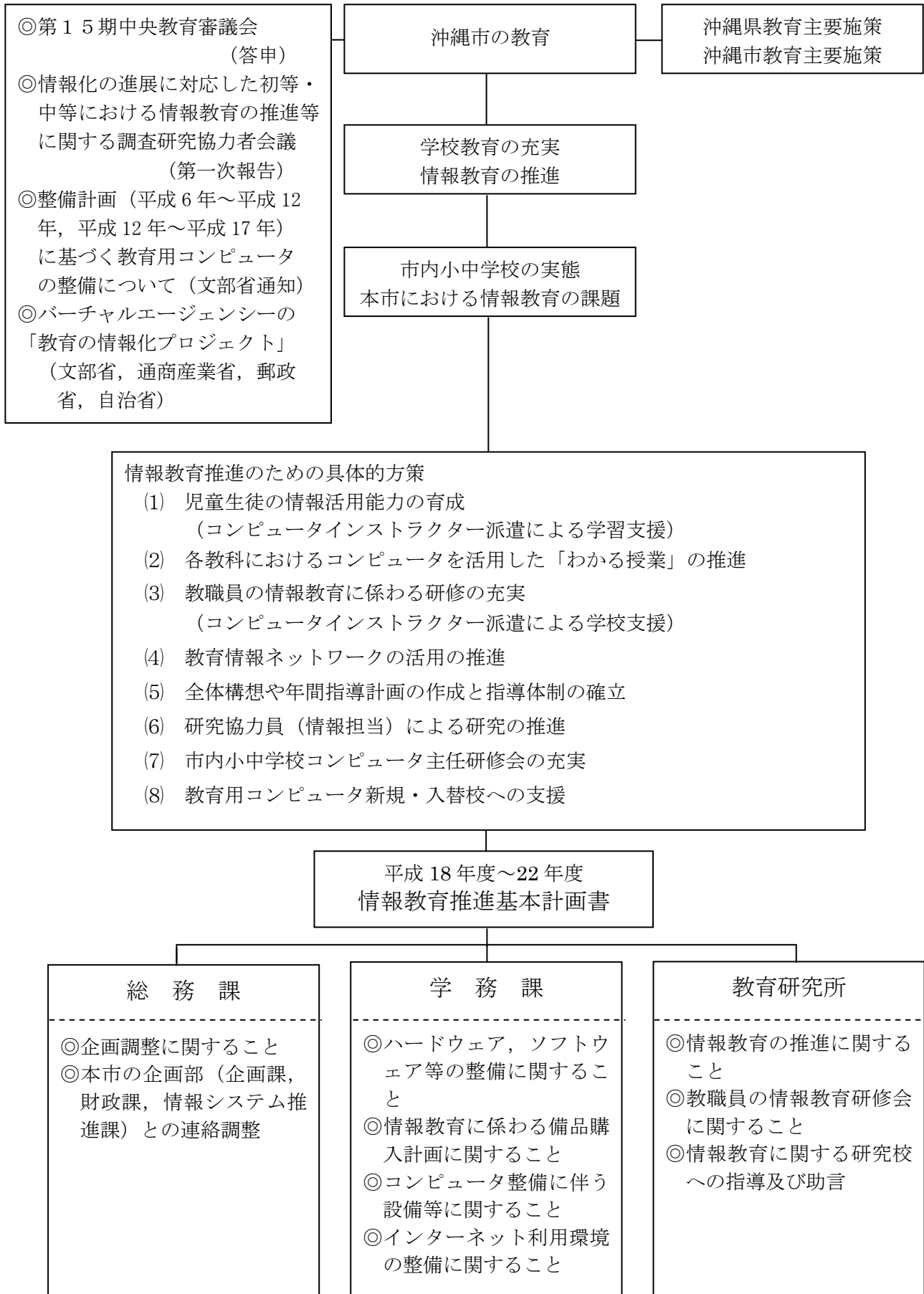
進展する高度情報通信社会において、児童生徒一人一人に、情報を効率的に収集・選択・活用・発信できる態度の基礎的な資質や能力など、情報活用能力（情報リテラシー）を身につけさせることは重要である。

本市の学校においては、地域イントラネット基盤整備事業によって、校内LANの整備や普通教室にも端末機が設置され、ハード面は着実に充実してきた。また、すべての教師がコンピュータを操作できるようになり、今後は、学習指導におけるコンピュータやインターネット等の活用促進を図る必要がある。

このため、「第3次情報教育推進基本計画書」に基づき、インストラクター等を活用した情報教育に係わる教職員研修を強化するとともに、個別的な学習指導の充実・多様な教材の提供・指導方法の工夫改善を通して、児童生徒の情報活用能力の育成及び確かな学力の向上に努める。



(2) 情報教育推進の基本構想図



12 教育相談

近年、社会生活の急速な変化に伴い、人間関係の難しさや複雑化が子ども達に反映し、非行、暴力、不登校など、さまざまな問題行動をひき起こしている。

また、表面には現れないまでも、無気力、耐性の弱さ等により、家庭生活や学校生活に適応できず、悩みを抱えた子どもが増えつつあるといわれている。

本市においても、このような子ども達を支援するため、昭和52年7月から教育相談活動が開始され、現在に至っている。

当初、市教育委員会学校教育課のなかで週2回相談活動が行われていたが、その後、市立教育研究所の業務のなかに位置づけ、随時行ってきた。

平成6年度から教育相談員が週3回の嘱託職員となり、指導課及び青少年センターと連携して、電話相談、訪問相談等に当たっているが、相談を必要とする児童・生徒・保護者は年々増える傾向にある。

(1) 教育相談に対する基本的な考え方

- ① 市内の児童生徒及び保護者、教師の教育上の問題や悩みについて積極的に相談に応じ支援する。
- ② 主として電話相談、来所相談、訪問相談による相談活動を行う。
- ③ 沖縄市教育委員会が主催する月例の「不登校問題等対策会議」から依頼を受けた児童生徒に対しては、学校や保護者との十分な連携のもとに積極的な支援活動を行う。
- ④ 相談者個票を作成し、客観的、有効的な相談活動を行う。
- ⑤ 適応指導教室の担当者や研究所職員との連携も重視する。
- ⑥ 他の専門機関との連携も十分図り、より効果的な相談活動が実施できるようにする。
- ⑦ 守秘義務についても十分配慮し、相談者の利益を損なわないようにする。

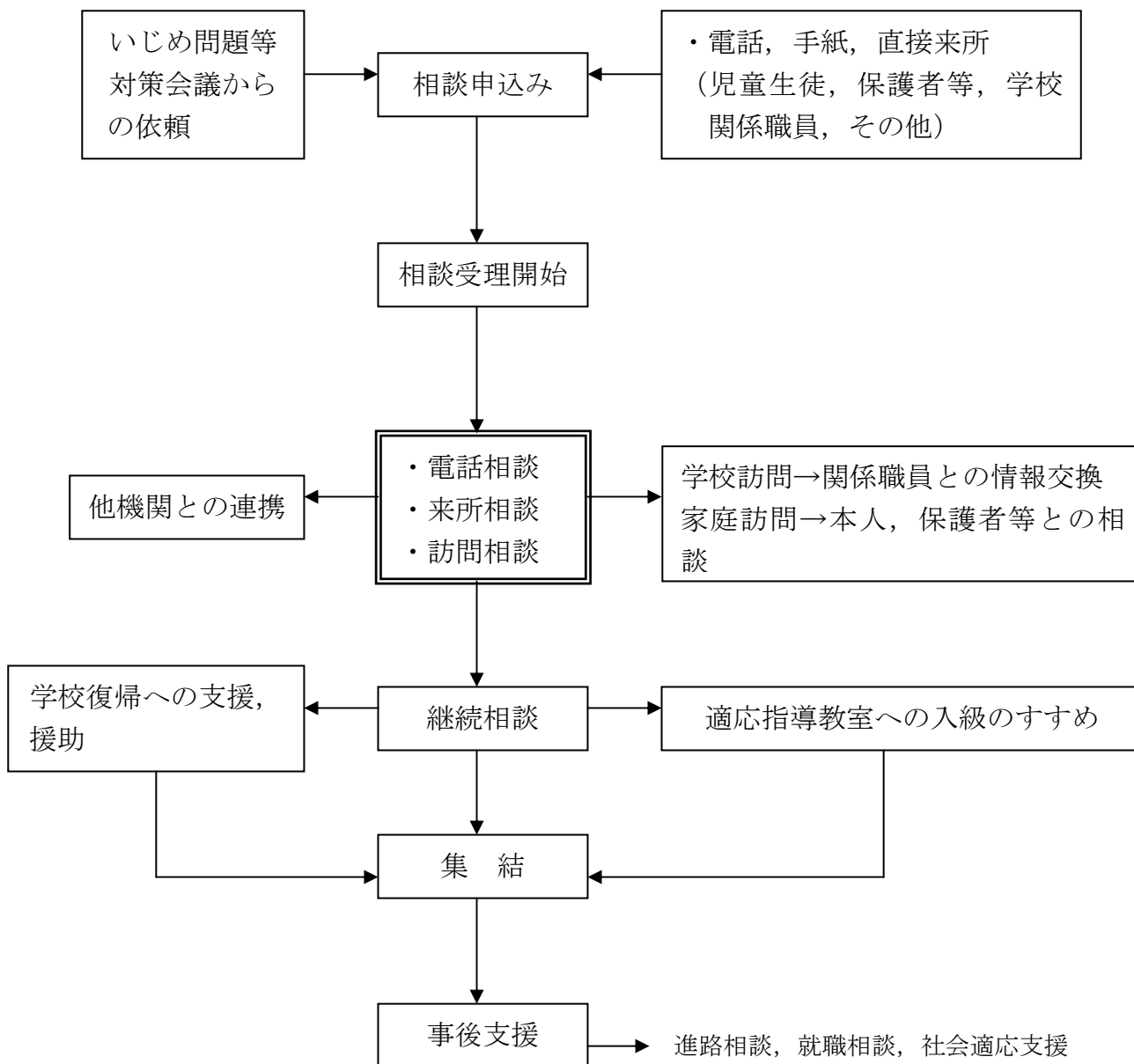
(2) 相談時間と場所

- ① 相談日は、月・水・金 午前9時00分～午後5時
- ② 原則として午前中は電話相談、来所相談に当て、午後は、訪問相談を中心に実施する。
- ③ 相談場所は、主として教育研究所相談室とする。

(3) 教育相談の内容

- ① 不登校及び不登校傾向児童生徒の適応相談
- ② 児童生徒の学校生活及び家庭生活における悩み相談
- ③ 保護者等の教育に関する相談
- ④ 学校関係職員への相談活動支援
- ⑤ 不登校に関する実態調査及び児童生徒理解や個別指導に関する調査
- ⑥ 相談に関わった卒業生の進路、就職、社会適応相談
- ⑦ 他機関との連携

(4) 相談の流れ



※ 相談日 → 毎週 月・水・金 午前9時00分～午後5時

※ 相談場所 → 市立教育研究所内 教育相談室

(5) 教育相談の推移

年度		教育相談			男計	女計	全計	備 考
		男	女	計				
53	幼稚園	18	5	23	29	12	41	
	小学校	3	2	5				
	中学校	8	5	13				
54	幼稚園	8	1	9	19	7	26	
	小学校	11	5	16				
	中学校	0	1	1				
55	幼稚園	11	1	12	17	3	20	
	小学校	6	0	6				
	中学校	0	2	2				
56	幼稚園	8	1	9	16	6	22	
	小学校	6	5	11				
	中学校	2	0	2				
57	幼稚園	6	3	9	21	7	28	
	小学校	14	3	17				
	中学校	1	1	2				
58	幼稚園	6	1	7	13	5	18	
	小学校	6	3	9				
	中学校	1	1	2				
59	幼稚園	5	4	9	9	9	18	
	小学校	3	4	7				
	中学校	1	1	2				
60	幼稚園	11	0	11	16	3	19	
	小学校	4	3	7				
	中学校	1	0	1				
61	幼稚園	6	6	12	38	12	50	
	小学校	32	6	38				
	中学校	0	0	0				
62	幼稚園	0	0	0	15	6	21	
	小学校	15	6	21				
	中学校	0	0	0				
63 元年 2	幼稚園	0	0	0	0	0	0	
	小学校	0	0	0				
	中学校	0	0	0				
3	幼稚園	3	2	5	55	28	83	電話 (206) 来所 (91) 訪問 (156)
	小学校	32	11	43				
	中学校	20	15	35				
4	幼稚園	1	0	1	24	18	42	教育相談 (329)
	小学校	10	9	19				
	中学校	13	9	22				
5	幼稚園	0	0	0	22	18	40	教育相談 (354)
	小学校	9	8	17				
	中学校	13	10	23				
6	幼稚園	1	0	1	41	32	73	教育相談 (345)
	小学校	11	12	23				
	中学校	29	20	49				
7	幼稚園	1	1	2	42	52	94	電話 (213) 来所 (72) 訪問 (194)
	小学校	15	18	33				
	中学校	26	33	59				
8	幼稚園	0	2	2	48	59	107	電話 (369) 来所 (57) 訪問 (245)
	小学校	12	17	29				
	中学校	36	40	76				
9	幼稚園	2	1	3	43	60	103	電話 (450) 来所 (157) 訪問 (327)
	小学校	10	19	29				
	中学校	31	40	71				
10	幼稚園	0	0	0	15	21	36	電話 (224) 来所 (58) 訪問 (208)
	小学校	7	8	15				
	中学校	8	13	21				
11	幼稚園	0	0	0	15	16	31	電話 (141) 来所 (26) 訪問 (141)
	小学校	9	3	12				
	中学校	6	13	19				
12	幼稚園	0	2	2	24	22	46	電話 (313) 来所 (131) 訪問 (128)
	小学校	12	6	18				
	中学校	12	14	26				
13	幼稚園	0	1	1	9	9	18	電話 (332) 来所 (231) 訪問 (142)
	小学校	9	8	17				
	中学校	0	0	0				
14	幼稚園	0	0	0	14	11	25	電話 (213) 来所 (204) 訪問 (219)
	小学校	7	5	12				
	中学校	7	6	13				
15	幼稚園	0	0	0	28	21	49	電話 (218) 来所 (312) 訪問 (156)
	小学校	17	11	28				
	中学校	11	10	21				
16	幼稚園	0	0	0	24	27	51	電話 (195) 来所 (137) 訪問 (94)
	小学校	13	8	21				
	中学校	11	19	30				
17	幼稚園	0	0	0	36	29	65	電話 (412) 来所 (233) 訪問 (171)
	小学校	15	11	26				
	中学校	21	18	39				
18	幼稚園	0	0	0	19	17	36	電話 (433) 来所 (216) 訪問 (68)
	小学校	4	5	9				
	中学校	15	12	27				
19	幼稚園				47	89	136	電話 (758) 来所 (302) 訪問 (192)
	小学校							
	中学校	47	89	136				
20	幼稚園	0	0	0	13	16	29	電話 (162) 来所 (207) 訪問 (25)
	小学校	5	8	13				
	中学校	8	8	16				
合 計	幼稚園	87	31	118	646	509	1155	H19は校種別統計はなし
	小学校	293	199	492				
	中学校	266	279	545				

(昭和53年度からの統計)

13 言語教室の概要

本市では、昭和48年に風疹児のインテグレーションのための言語学級が、中の町小学校に1学級設置された。その後普通学級の言語障がい児も指導するようになり、昭和52年には、諸見小学校と安慶田小学校に言語学級が設置された。そこへ未設置校の言語障がい児の親や団体からの要請があり、昭和54年1月から市立教育研究所に言語教室を設置し、既設校3校の3教諭が指導にあたることになった。昭和55年には、美里小学校、昭和59年には、北美小学校、宮里小学校にも言語学級が設置され、設置校6校の6教諭が週2回（火・木）言語教室の指導にあたった。さらに、昭和61年には、室川小学校にも言語学級が設置され、設置校7校の7教諭が週1回（火）言語教室の指導にあたった。しかし、平成2年度に美里小学校が閉級となったため、設置校6校の6教諭が週1回（火）言語教室の指導にあたった。平成6年度からは、指導者が4教諭（北美、中の町、宮里、安慶田）となり、週1回の指導体制で、未設置校の言語障がい児の指導をおこなった。さらに、平成9年度からは、宮里小学校も閉級となったため、3校（北美、中の町、安慶田）の3教諭で週1回の指導を行っている。平成15年度以降は、現職教諭3名と退職教諭1名で指導を行っている。

平成18年度、新たにコザ小学校に言語学級が開設され、市内の言語学級が4校になった。

平成20年度の指導体制としては、現職教諭4名と退職教諭1名で指導を行っている。

(1) 指導目標

言語に障がいを持っている児童の症状と程度に応じた指導を行い、その改善に努めるとともに児童の持っている能力を伸ばし、より豊かな人間性と望ましい人間関係の育成を図り集団への適応を高める。

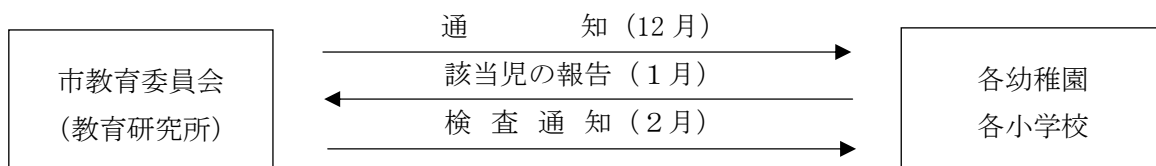
(2) 指導方針

- ① 言語の障がいや異常の背景をなす諸要因をできるかぎりの確に把握し、個々に即応した指導援助を行う。
- ② 専門家の協力を求めて診断・指導の適正を図る。
- ③ 学校・学級担任・保護者との連携と交流を深め指導の一貫性を図り、指導効果の促進に努める。
- ④ 必要に応じて教育相談を行い、早期治療に努める。

(3) 対象者

- ① 市内の小学校（言語学級設置校を除く）に在籍し、短期間（2ヵ年以内）の指導で改善すると思われる児童とする。
- ② 下記の言語障がいに該当する児童とする。
 - ・ 構音障がい（発音異常）
 - ・ 吃（きつ）音
 - ・ 口がい裂に伴う言語障がい
 - ・ 難聴に伴う言語障がい
 - ・ 発声障がい（声の異常）
 - ・ 言語発達の遅れ
 - ・ 脳性マヒに伴う言語障がい

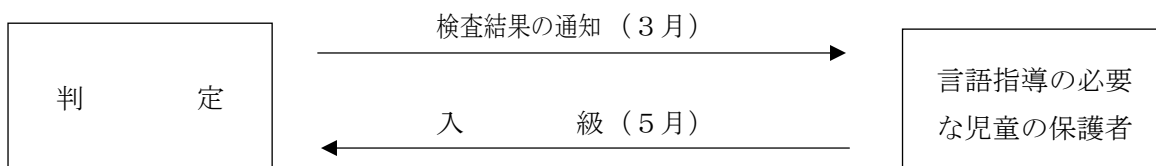
(4) 言語教室への入級手順



【検査内容】

検査実施
(2月第3・4水曜日)
(3月第1・2水曜日)

- ① ことばのテスト、絵本による検査
- ② 必要に応じて聴力検査
- ③ その他（発達、知能検査）
- ④ 必要に応じて小児発達センター又は耳鼻科医等へ依頼



言語教室
への入級

※ 小学生クラス（保護者同伴）

(5) 研究所言語教室指導者名

指導者名	学校名	学校住所	電話番号
島田喜代	沖縄市立教育研究所	沖縄市上地 3-4-3	932-9370
仲宗根艶子	中の町小学校	沖縄市上地 3-4-1	933-3054
池原悦子	北美小学校	沖縄市登川 1515	937-3616
伊波沙織	コザ小学校	沖縄市中央 4-16-1	937-3249
多幸京子	安慶田小学校	沖縄市安慶田 2-18-1	937-3561

(6) 言語教室通級児の推移

年度	性別	障がい名	構音障がい	声の異常	言語発達遅滞	吃音	口蓋裂	脳性マヒ	難聴	発達に伴う言語遅滞	情緒障がい	知的障がい	その他	合計
昭和53～63 累計	男		40	3	48	4	5	2	4	67	29	1	203	
	女		17	0	16	1	3	3	3	3	11	0	57	
	計		57	3	64	5	8	5	7	70	40	1	260	
平成元年	男		5	1	3	0	0	0	0	2	0	1	12	
	女		1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	5	
	計		6	1	4	0	0	0	2	3	0	1	17	
2	男		3	0	0	0	0	0	0	2	1	1	7	
	女		0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3	
	計		3	0	0	0	0	0	1	2	3	1	10	
3	男		4	0	0	0	0	0	0	3	2	0	9	
	女		0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	4	
	計		4	0	0	0	0	0	1	3	5	0	13	
4	男		3	0	1	0	0	0	0	5	2	0	11	
	女		2	0	0	0	0	0	1	1	2	0	6	
	計		5	0	1	0	0	0	1	6	4	0	17	
5	男		3	0	0	0	0	0	1	1	3	0	8	
	女		3	0	0	0	0	0	1	1	2	1	8	
	計		6	0	0	0	0	0	2	2	5	1	16	
6	男		3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	
	女		0	0	2	1	0	0	1	2	2	0	8	
	計		3	0	2	1	0	0	2	3	2	0	13	
7	男		3	0	0	0	0	0	2	2	0	0	7	
	女		2	0	0	0	2	0	0	1	3	0	8	
	計		5	0	0	0	2	0	2	3	3	0	15	
8	男		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	女		2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
	計		4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	
9	男		0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
	女		2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	
	計		2	0	0	0	0	0	1	0	4	0	7	
10	男		3	0	0	0	0	0	1	1	2	0	7	
	女		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
	計		4	0	0	0	0	0	1	1	3	0	9	
11	男		4	0	3	0	0	0	1	1	0	0	9	
	女		3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	
	計		7	0	3	0	0	0	2	1	0	0	13	
12	男		3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	6	
	女		5	0	1	0	0	0	1	0	0	0	7	
	計		8	0	4	0	0	0	1	0	0	0	13	
13	男		6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	女		4	0	0	0	0	0	1	0	1	0	6	
	計		10	0	0	0	0	0	1	0	1	0	12	
14	男		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	女		7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
	計		11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
15	男		5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	
	女		3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	
	計		8	0	0	1	0	0	1	0	0	0	10	
16	男		10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
	女		2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
	計		12	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13	
17	男		10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
	女		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	計		12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
18	男		6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	
	女		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	計		10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	11	
19	男		8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	
	女		3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	
	計		11	0	0	1	1	0	0	0	0	0	13	
20	男		9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
	女		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	計		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
合計	男		134	4	58	7	5	2	10	85	42	3	350	
	女		67	0	20	2	7	3	16	9	28	1	153	
	計		201	4	78	9	12	5	26	94	70	4	503	

14 適応指導教室「すだち」

(1) 設置の趣旨

昨今、不登校は学校教育が抱える大きな問題の一つである。このようななか、学校内における指導体制の充実はもちろんであるが、子ども達を取り巻く社会環境の変化に伴い、多様な対応が求められている。さらに学校・家庭・地域・専門機関等との連携による取り組みが必要であり、不登校児童生徒への援助・支援を目的に、沖縄市立教育研究所が主管となって適応指導教室を設置する。

(2) 開級目的

心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導・援助を行うことにより、人間関係の改善と児童生徒の自立を促し、学校適応を図ると共に学校復帰を目指す。

(3) 開級期間及び開級日時

- ・開級期間 平成 21 年 4 月 13 日（月）～平成 22 年 3 月 18 日（木）
但し 入級式は 6 月 1 日 それまでの間は仮入級の形で受け入れる
- ・開級曜日 月曜日から金曜日までの週 5 日（祝祭日は休み）
- ・開級時間 午前 9 時～午後 12 時
(午後の活動は児童生徒の状態を見て対応、但し完全下校は 2 時 3 0 分とする)
- ・長期休業 市立小中学校に準ずるものとする

(4) 入級申し込み受付期間

- ・入級申し込み受付期間は、平成 21 年 4 月 13 日（月）～平成 21 年 12 月 14 日（月）とする。

(5) 開級場所

沖縄市立教育研究所内 〒904-0031 沖縄市上地 3-4-3
電 話 (098) 933-6242
FAX (098) 933-7002
E-mail kkyoik01@city.okinawa.okinawa.jp

(6) 入級人数

適応指導教室の入級人数は、15 名程度とする

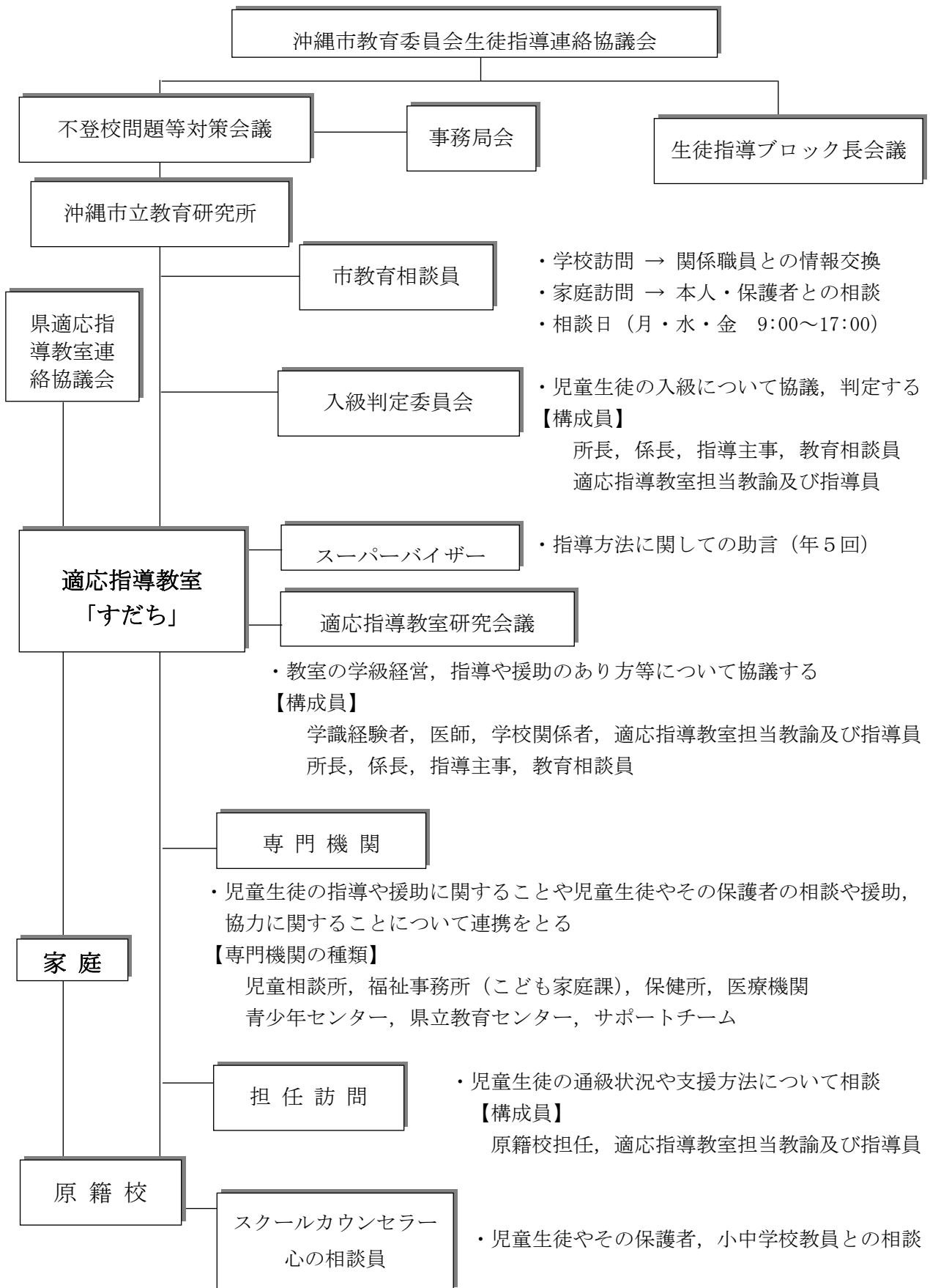
(7) 入級対象者

沖縄市内の小・中学校に在籍し、心理的・情緒的要因による不登校で、本適応指導教室における指導・援助が必要と判定された者。

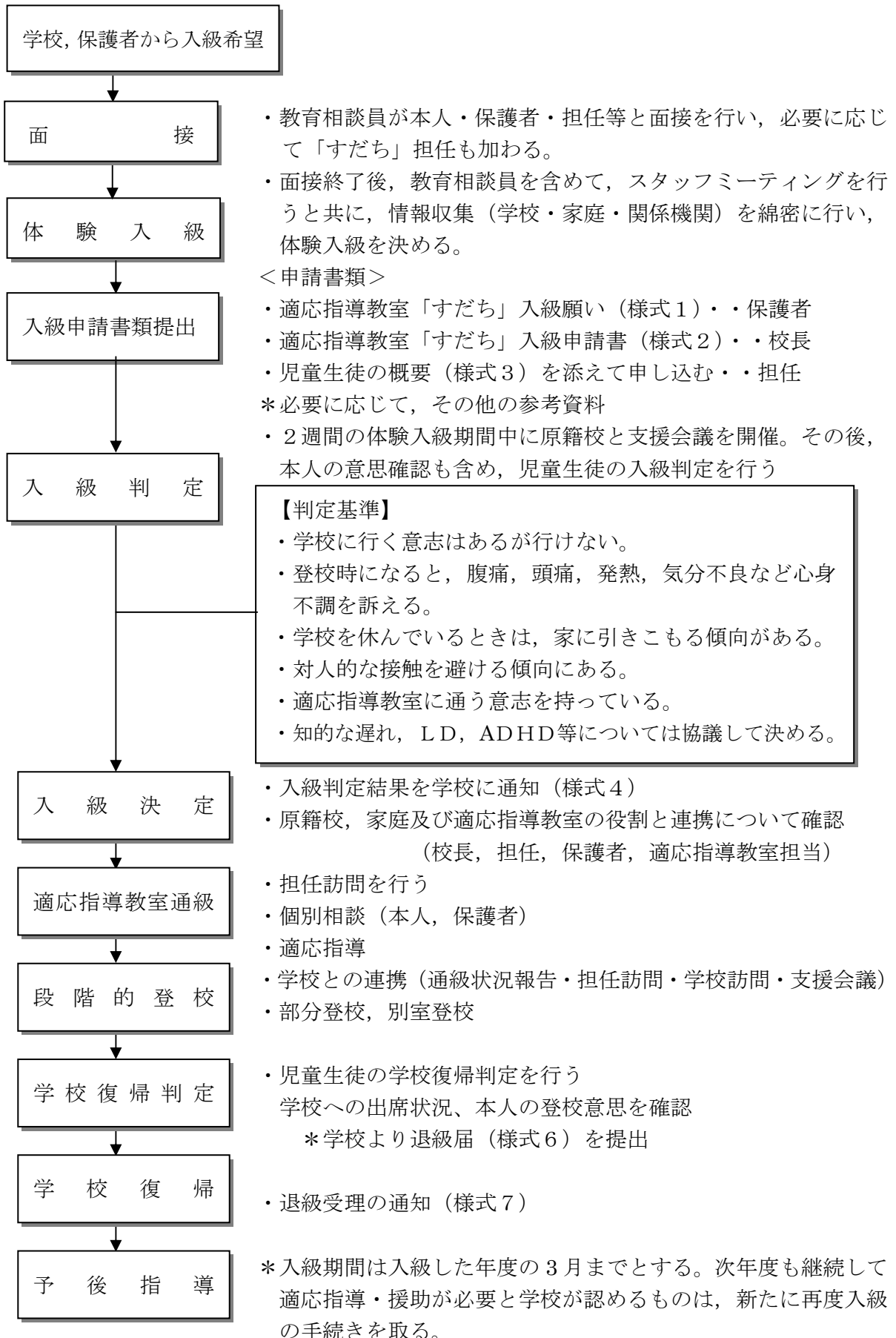
- ① 学校に行く意志はあるが行けない。
- ② 登校時になると、腹痛、頭痛、発熱、気分不良など心身不調を訴える。
- ③ 学校を休んでいるときは、家に引きこもる傾向がある。
- ④ 対人的な接触を避ける傾向にある。
- ⑤ 適応指導教室に通う意志を持っている。
- ⑥ 知的な遅れ、LD、ADHD等については協議して決める。
- ⑦ 精神的な疾患でない。

※⑥、⑦については、専門機関と本適応指導教室の協議により決定する。

(8) 組織と指導体制



(9) 入級の手順と学校復帰へのプロセス



(10) 日課表及び週時程表

①活動内容

朝の会	朝のあいさつ，健康チェック，一日の計画，（日直当番で朝の会の司会を行い皆の前で発言することに慣れる） 小動物の世話，花壇の水やり・手入れ
学習活動	自主学習（教科書学習，プリント学習等），読書 *各生徒の状況によって少人数での一斉授業の実施
休憩	休 み 時 間
自主活動	絵画，パソコン，手工芸，書道，詩作，卓球，その他ゲームなど他者との関わりを持つ時間
体験学習 （毎週水曜日）	野外活動，調理実習，社会見学，交流体験，ボランティア活動，もの作り，お楽しみ会，講演会等生活体験を広げるとともに，集団適応能力を育てる
スポーツ活動	月に1回県総レクドームや野外，体育館でのスポーツを行う
教育相談	適時，通級児童生徒と学校・家庭・本人等について様々な話をする時間
帰りの会	個人日誌記入，話し合い，諸連絡，片付け，来週の計画等
午後の活動	自分で決めて活動する（午後残って活動を希望する者のみ） *必要に応じて，学習支援を行う

② 日課表

曜日 時間	月	火	水	木	金
9:00～9:30	朝 の 活 動 (朝の清掃・水かけ・談話など)				
9:30～9:40	朝 の 会 (出席確認・健康観察・連絡事項)				
9:40～10:50	学 級 活 動 *共同での作業や活動を多く取り入れる。 ALT 英語 *生徒の意思を尊重し，この時間を使って，生徒個々の相談活動を行うことによって，理解を深めていく。				
11:00～12:00	自 主 活 動 (卓球・トランプ・将棋・談話 t i m e) ALT 英語 *生徒同士の触れ合う時間帯を確保することによって，他者との関わりを持てる時間とする。				
12:00～14:30	下 校 (必要に応じて生徒の活動) *各学校訪問（担任・教育相談・その他教諭との生徒の情報交換） *登校支援（5・6校時参加支援）				
14:30～16:00	*学校における生徒相談活動の支援 *家庭訪問 *STAFF MEETING *スーパーバイズ（年5回）				

15 図書・資料

(1) 利用時間

月・水・金 午前9時30分～午後4時00分

(2) 利用手続き

- ① 図書室の貸し出しを受けようとするものは、研究所に備えつけの貸出簿に年月日・請求記号・書名・氏名等の必要事項を記入し、係員に提出しなければならない。
- ② 室外貸し出しは、図書については2冊以内、資料については3冊以内とし、貸し出し期間は2週間以内とする。ただし、所長が個人研究及び校内研究等に必要と認めた場合は、その限りでない。また、本研究所の研究に必要であると認めた場合は、貸し出し期間にかかわらず返却を求めることができる。
- ③ 館内表示の「禁帯出」図書及び最新号の雑誌は、貸し出さない。
- ④ 貸し出しを受けたものは、他人に図書等の転貸をしてはならない。
- ⑤ 重要な参考資料の貸し出しは行わない。ただし、所長が認める場合はその限りでない。
- ⑥ 貸し出しを受けた図書等を紛失し、または、著しく損傷した場合は同一の図書等を代納または、実費を納入しなければならない。
- ⑦ 図書等の返本を著しく遅滞したものに対しては、所長は一定の期間、図書等の利用を禁止することができる。

(3) 分類・配架

- ① 図書 NDC（日本十進分類法）により分類
- ② 教育研究資料 教育関係資料分類基準により分類
- ③ 配架 図書（分類順），資料（都道府県別）

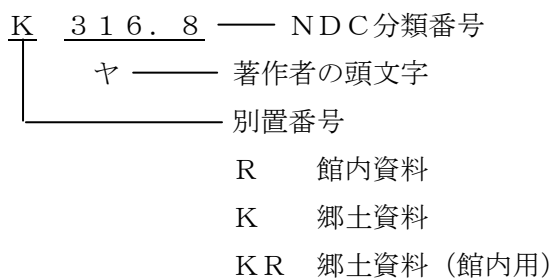
(4) 請求番号（右側の英数字）

この目録で探した図書や資料を貸し出すときに必要な番号です。

（この番号は図書・資料の背ラベルの番号と同じです）

（凡例）

○ 図書



○ 資料

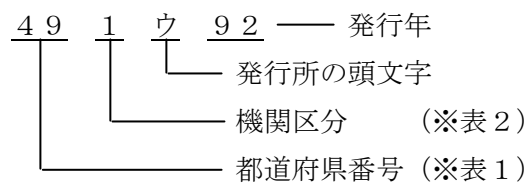


表1 都道府県番号表

01	北海道	14	神奈川	27	大 阪	40	福 岡
02	青 森	15	新 潟	28	兵 庫	41	佐 賀
03	岩 手	16	富 山	29	奈 良	42	長 崎
04	宮 城	17	石 川	30	和歌山	43	熊 本
05	秋 田	18	福 井	31	鳥 取	44	大 分
06	山 形	19	山 梨	32	島 根	45	宮 崎
07	福 島	20	長 野	33	岡 山	46	鹿 児 島
08	茨 城	21	岐 阜	34	広 島	47	沖 縄
09	栃 木	22	静 岡	35	山 口	48	国立教育
10	群 馬	23	愛 知	36	徳 島	49	全教連
11	埼 玉	24	三 重	37	香 川	50	その他
12	千 葉	25	滋 賀	38	愛 媛		
13	東 京	26	京 都	39	高 知		

表2 機関分類表

1	教育研究所, 教育センター 教育研修所
2	民間教育研究機関
3	幼稚園, 小学校
4	中学校
5	高等学校
6	教育委員会
7	都道府県, 市町村
8	国, ユネスコ
9	一般団体, 個人, 会社 労組, 商工会議所
10	その他